

# 患者の皆様へ

2022年2月22日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「原発性肺癌術後再入院症例の後方視的検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2011年1月から2020年12月までの間に当科で肺切除を行い、原発性肺癌の診断となった患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名 「原発性肺癌術後再入院症例の後方視的検討」

## 2. 研究の意義・目的

一般的に、肺癌（はいがん）患者さんのうち、手術が可能な病期であり手術を受ける体力が十分であると判断された方については、入院して手術を行い、退院後は、創部や体調の確認、肺癌が再発していないかどうかなどを、当科外来に定期的に通院していただきフォローアップしていきます。手術で癌を摘出できた患者さんの中には、癌が再発し、検査や治療のためにもう一度入院しなければならない患者さんが一定数存在する一方で、手術による合併症や、肺癌以外の理由で入院しなければならない方もいます。肺癌の再発以外で再入院となる患者さんにはどのような特徴があるのか？再入院を避けるために、手術前に再入院の可能性を予測し、対策できる因子が存在するのかどうか？などといった点を追求するため、本研究を行うこととしました。

## 3. 研究の方法

患者さんの電子カルテ内の情報のうち、既往歴（過去の病気）や血液検査や呼吸機能検査の数値データ、肺癌の病期、治療内容や治療期間などといった診療情報を個人情報特定されない範囲で一部使用し、術後再入院リスクの解析などに利用させていただきます。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器外科臨床研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院呼吸器外科

**医師** 坂入 祐一

**043 (222) 7171 内線 5464**